

# しらかば

## 挨拶の大切さ

富良野市立山部小学校長 桑原久美

木々の緑が日ごとに濃く深くなり、夏本番がやってきました。教室では、窓を開け扇風機やサーキュレーターを回し、換気と室温を下げる対策をしています。保護者の皆様には、水筒を持たせていただくなど、ご協力に感謝申し上げます。

右の写真は、体育館前に設置されている挨拶を啓蒙する看板です。「オアシス運動」と言って、「おはよう」「ありがとう」「しつれいします」「すみません」の4つの挨拶の頭文字からとったものです。本校のPTAが設置してくださいました。現在もPTA活動として、挨拶標語を募集し、応募作品から優秀な作品を地域の商店や人が多く集まる場所に掲示して下さっています。また、月初めには「一声デー」として朝登校を見守りながら、挨拶ができるようにと声掛けをして下さっています。このように挨拶に関して積極的に取り組んでくださる本校のPTAには、感謝の気持ちでいっぱいです。



本校の合い言葉「あそべ山小！」の「あ」も挨拶です。特に今年度の重点目標として、人と人とが豊かに関わる基礎として「挨拶をすること～礼儀」を大切にしたいと考えています。相手がいるから挨拶をします。相手と関わろうとするスタートが挨拶です。人と上手に関わる力を、この小学校時代にしっかり身に付けてほしいと願っています。



右の文は今から4年前のものですが、商工会議所の荒木会頭が挨拶の大切さについて話されたことを記事にしたものです。大人でも気持ちのよい挨拶ができる人の方が印象がよいのではないのでしょうか。子どもたちも教職員も気持ちのよい挨拶ができる学校を目指します。

### 心に響く道徳教育 12/12

富良野市教育委員会による外部人材を活用した道徳教育が行われました。商工会議所の荒木会頭をお招きし、会社が求める人材、柔軟な発想の必要性などについて講演をしていただきました。入社試験でどのような人を採用するかという話では、明るい人、やる気があり最後までやり遂げられる人、挨拶ができる人とおっしゃっていました。特に挨拶は、家庭で日常的に行うことの重要性を説いていました。(中略)この日の話が子どもたちの心に残り、日常的に生かされることを期待しています。(H29年12月 学校だよりより)

